

令和6年度 学生募集要項

- 総合型入試
- 公募制推薦入試
- 専門学科、総合学科推薦入試
- 特別奨学生入試
- 一般入試
- 大学入学共通テスト利用入試
- 社会人入試

Net出願

すべての入試で
インターネット出願を
利用できます。



看護学部 看護学科

リハビリテーション学部 理学療法学科

作業療法学科

岐阜保健大学

建学の精神

「命と向き合う心、知識、技を持った地域医療に貢献できる医療人の養成」

教育目的

岐阜保健大学は、教育基本法及び学校教育法の趣旨に基づき、保健医療に関する専門の理論及び技術を深く教授研究し、並びに豊かな人間性、高潔な人格と専門的能力をかね備えた資質の高い人材を養成することにより、地域の保健医療の向上と福祉の増進に寄与し、その教育研究の成果により、広く地域と社会の発展に貢献することを目的とする。

目次

令和6年度 学生募集要項

看護学部 看護学科	リハビリテーション学部 理学療法学科・作業療法学科	
建学の精神、3つの方針	看護学部	1
	リハビリテーション学部	2
入学定員と募集人員		5
出願資格		6
入学試験要項	総合型入試Ⅰ期・Ⅱ期	8
	公募制推薦入試Ⅰ期	9
	公募制推薦入試Ⅱ期	10
	専門学科、総合学科推薦入試	11
	特別奨学生入試	12
	一般入試Ⅰ期	14
	一般入試Ⅱ期	15
	一般入試Ⅲ期・Ⅳ期	16
	大学入試共通テスト利用入試Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期	17
	社会人入試Ⅰ期・Ⅱ期	18
出願方法 (Net出願)		19
出願に必要な書類		20
入学検定料		21
受験上の注意事項、不正行為について		22
合格発表、新型コロナウイルス感染症対策について		23
入学手続、入学前教育プログラム		24
充実した本学独自の奨学金制度		28
奨学金制度 (学外)、各種教育ローン		29
試験場		30
岐阜保健大学 (本学) 試験場駐車場案内		32

教育目標

看護の深い専門的な知識と技術を備え、生命の尊厳を基盤とした倫理観と心豊かな人間性を身につけた、常に自己研鑽を継続できる高い資質と看護実践能力を持った看護職者を養成すること、またその養成を通じて広く地域と社会の保健・医療・福祉の向上に貢献することを目的とする。

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

自主自学の精神に基づき、自律して学ぶ意欲を持つ人を受け入れる。

1. 十分な基礎学力を有し、主体的に学ぶ姿勢を持ち積極的に課題解決しようとする人
2. 看護への強い関心を有し、看護学を学ぶ意欲の高い人
3. 豊かな感性を備え、コミュニケーションを通じて他者と関係を育むことをいとわない人
4. 看護を通じて地域社会に貢献していく志のある人
5. 異なる文化や価値観を理解し、国際社会の発展に保健医療を通じて貢献する意欲がある人

看護学を学ぶために必要となる大学入学までに身に付けておくべき教科・科目等

1. (国語) 日本語の読解力と適切に表現する能力
2. (英語) 国際的なコミュニケーション手段としての英語の能力
3. (生物・化学・数学) 生命現象を理解する上で必要となる生物や化学等の自然科学の基礎的知識

教育課程の編成方針(カリキュラム・ポリシー)

1. 教育課程は、基本教育科目、専門教育関連科目、専門教育科目の3科目区分から構成する。
2. 基本教育科目は、人間力や看護する対象の全人的・共感的な理解、コミュニケーション能力の養成のため、人間理解のために「思考力の養成」、「表現力の養成」、「人間力の養成」、「人間の理解」の4科目領域を置く。
3. 専門教育関連科目は、看護の対象理解の基盤として、パートナーシップや科学的な知識や根拠に基づく判断力や対応力を養成するため、「健康と健康障害の理解」と「社会と環境の理解」の2科目領域を置く。
4. 専門教育科目は、科学的根拠に基づく、看護のコアとなる知識と技術である看護実践能力とケア・スピリットを養成するため、看護の理解のために「看護の基本」と「看護の展開」の2科目領域を置き、「看護の展開」の中に、「成人看護学」、「老年看護学」、「小児看護学」、「母性看護学」、「精神看護学」、「在宅看護学」の各看護専門分野の科目領域と、看護の統合的理解として、多職種連携・協働、地域社会の特性の理解と地域への貢献、看護専門職者としての成長に重点を置いた、「看護の統合と発展」、「公衆衛生看護学」、「看護研究」の科目領域を置く。

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

本学部では、必要な単位を取得し、次の能力を有すると認められた者に、学士(看護学)の学位を授与する。

1. 人間力
人間性豊かで温かく、人間に対する深い畏敬の念を持ち、地域に暮らす多様な人々の生活・文化を尊重し、周囲の人々とコミュニケーションを通して理解し合い、協働することができる。
2. ケア・スピリット
良質で安全なケアの提供を通じて、地域のあらゆる発達段階、健康レベル、生活の場にある人々の健康で幸福な生活の実現に貢献できる。
3. 人間の実践的理解
多様な人々の看護に必要なかつ十分な知識を身に付け、個人、家族、集団、地域について幅広く理解できる。
4. プロフェッショナリズム
看護ケアに必要な専門的知識と技術を備え、地域の特性の理解を踏まえ、人々の尊厳を擁護する看護実践に活かすことができる。
5. 多職種連携・チームワーク
看護対象者や保健・医療・福祉や生活に関わる全ての人々と連携し協働できる。

教育目標

生命の尊厳を基盤とした倫理観をもち、全人的医療に関する知識と技能および態度を備えた理学療法士または作業療法士を養成する。また、その養成を通じて広く地域社会の保健・医療・福祉の向上に貢献する。

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

リハビリテーション学部では、理学療法学科、作業療法学科ともに、以下のような学生を求める。

- AP1: 心身ともに自らの健康管理ができる人
- AP2: 人の健康を支援することへの関心をもつ人
- AP3: 必要な知識・技術の修得に努力し、自己研鑽を継続できる人
- AP4: 仲間との協調性をもてる人
- AP5: 地域における人々と暮らしに関心を持てる人

[リハビリテーション学部に入学者までに身につけておくべき教科・科目等]

入学を希望する人は、高等学校卒業までに国語・英語、生物等の自然科学を中心とした基礎学力を身につけておくこと。国語・英語の基礎学力は、講義や研究で文献検索、レポート作成など、自分の意見を伝える手段として必要不可欠であり、自然科学の学力は、人間の行動、活動に対する分析、推理的な思考を養うために重要であるため。

教育課程の編成方針(カリキュラム・ポリシー)

リハビリテーション学部

建学の精神と教育理念に基づいたディプロマポリシーの実現のため、以下を本学部の教育課程編成の方針とする。

- CP1: 教育課程は「総合科学科目」と「専門科目」の2科目区分から構成し、専門科目は「専門基礎科目」「専門展開科目」を設置し展開する。
- CP2: 生命の尊厳や人間への畏敬、他者とのコミュニケーション等の医療人としての基礎的知識と態度の養成のため「基礎ゼミナール」「現代の倫理」「人間関係論」「コミュニケーション論」「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」を総合科学科目に設置し展開する。
- CP3: リハビリテーション学の基礎知識を修得するため、人体の構造と機能については「解剖学」「生理学」「運動学」を、疾病や障害の基礎については「病理学」「神経内科学」「整形外科学」を専門基礎科目に設置し展開する。さらに、専門知識と技能を修得するため、理学療法学科、作業療法学科ともに基礎療法学、評価学、治療学を専門展開科目に設置し展開する。
- CP4: 理学療法や作業療法に関わる専門的かつ最新の技能および態度を修得するため、治療学の応用としての多様な演習や、総合理学療法学区分、総合作業療法学区分として「実践力演習」「卒業研究」を専門展開科目に設置し展開する。
- CP5: 多職種連携と協働の理論のもと、行動力と実践力を養うために地域理学療法学区分、地域作業療法学区分、臨床実習区分を専門展開科目に設置し展開する。

(1) 理学療法学科

- CP1: 教育課程は「総合科学科目」と「専門科目」の2科目区分から構成し、専門科目は「専門基礎科目」「専門展開科目」を設置し展開する。
- CP2: 生命の尊厳や人間への畏敬、他者とのコミュニケーション等の医療人としての基礎的知識と態度の養成のため「基礎ゼミナール」「現代の倫理」「人間関係論」「コミュニケーション論」「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」を総合科学科目に設置し展開する。
- CP3: 理学療法学の基礎知識を修得するため、人体の構造と機能については「解剖学」「生理学」「運動学」等を、疾病や障害の基礎については「病理学」「神経内科学」「整形外科学」等を専門基礎科目に設置し展開する。また、専門知識と技能を修得するため、基礎理学療法学区分に「理学療法概論」「臨床運動学」を、理学療法評価学区分に「理学療法評価検査・測定論」等を、理学療法治療学区分に各領域別治療学と「理学療法基礎治療技術論」「スポーツ障害理学療法学」「介護予防演習」等を専門展開科目に設置し展開する。
- CP4: 多様化するニーズに対応した心身の両側面を支援する理学療法と問題解決能力に関わる専門的かつ最新の技能および態度を修得するため、治療学の応用としての多様な演習や、総合理学療法学区分として「実践力演習」「卒業研究」を専門展開科目に設置し展開する。
- CP5: 多職種連携と協働の理論のもと、行動力と実践力を養うために地域理学療法学区分には「地域理学療法学」「地域理学療法学演習」「多職種連携論」等を、臨床実習区分には5種類の臨床実習を専門展開科目に設置し展開する。

(2) 作業療法学科

- CP1: 教育課程は「総合科学科目」と「専門科目」の2科目区分から構成し、専門科目は「専門基礎科目」「専門展開科目」を設置し展開する。
- CP2: 生命の尊厳や人間への畏敬、他者とのコミュニケーション等の医療人としての基礎的知識と態度の養成のため「基礎ゼミナール」「現代の倫理」「人間関係論」「コミュニケーション論」「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」等を総合科学科目に設置し展開する。
- CP3: 作業療法の対象となる人々の理解と支援に必要となる基礎知識を修得するため、人体の構造と機能については「解剖学」「生理学」「運動学」等を、疾病や障害の基礎については「病理学」「神経内科学」「整形外科学」等を専門基礎科目に設置し展開します。また、対象者にとって価値や目的を持つ生活行為を向上させるための知識と技能及び生活に寄り添う視点を身につけるために、基礎作業療学区分に「基礎作業学」「作業療法理論」等を、作業療法評価学区分に「作業療法評価検査・測定論」等を、作業療法治療学区分に各領域別治療学と「作業と心身機能」「作業と神経生理」「生活行為向上マネジメント論」を専門展開科目に設置し展開する。
- CP4: 多様化する個別的・社会的ニーズに対応した実践的作業療法と問題解決能力ならびに作業療法への探究心と研究心に関わる専門的かつ最新の技能および態度を修得するため、治療学の応用としての多様な演習や、総合作業療学区分として「実践力演習」「卒業研究」等を、臨床実習区分には5種類の臨床実習を専門展開科目に設置し展開する。
- CP5: 多職種連携と協働の理論のもと、論理的思考に基づく行動力を養うために地域作業療学区分には「地域作業療法学」「地域作業療法学演習」「多職種連携論」等を、臨床実習区分には5種類の臨床実習を専門展開科目に設置し展開する。

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

リハビリテーション学部

本学部では、建学の精神と教育理念に基づいて、以下に掲げる知識と技能ならびに態度を身につけ、所定の単位を修得するとともに、それらを総合的に活用してリハビリテーション専門職の責任を果たすことができる者に、学士（リハビリテーション学）を授与する。

- DP1: 生命に対する尊厳と人間に対する畏敬の念をもち、豊かな人間性のもと、地域および世界の人々と協働するために円滑なコミュニケーションを図ることができる。
- DP2: 多種多様なリハビリテーション対象者の支援に必要かつ十分な基礎および専門的知識を修得し、人々の幸福と健康な生活の実現に貢献することができる。
- DP3: 医学・医療の進歩と社会のニーズの変化に対応するため、自己の専門性を発揮し、科学的分析に基づく問題解決能力を磨き、自己実現することができる。
- DP4: リハビリテーション対象者やその家族および保健・医療・福祉に関するあらゆる人々と連携し協力することができる。

(1) 理学療法学科

本学の建学の精神と教育理念に基づいて、以下に掲げる知識と技能ならびに態度を身につけ、所定の単位を修得するとともに、それらを総合的に活用してリハビリテーション専門職の責任を果たすことができる者に学士（リハビリテーション学）を授与する。

- DP1: 生命に対する尊厳と人間に対する畏敬の念をもち、豊かな人間性のもと、地域および異なる国の人々と協働するために、多様な人々の立場を尊重し、円滑なコミュニケーションを図ることができる。
- DP2: 多種多様な理学療法対象者に対する専門的な支援に必要かつ十分な基礎および専門的知識を修得し、自身が考案する支援について十分に説明する能力を身につけている。それらを通じて、人々の幸福と健康な生活の実現に貢献することができる。
- DP3: 医学・医療の進歩と社会のニーズの変化に対応するため、自己の専門性を発揮し、科学的分析に基づく問題解決能力を磨き、心身の両側面から人を支援できる理学療法を創造することができる。
- DP4: 理学療法対象者やその家族および保健・医療・福祉に関するあらゆる人々との協働に主体的に参画し、チーム医療や地域包括ケアに貢献することができる。

(2) 作業療法学科

本学の建学の精神と教育理念に基づいて、以下に掲げる知識と技能ならびに態度を身につけ、所定の単位を修得するとともに、それらを総合的に活用してリハビリテーション専門職の責任を果たすことができる者に学士（リハビリテーション学）を授与する。

- DP1: 生命に対する尊厳と人間に対する畏敬の念をもち、豊かな人間性のもと、地域および異なる国の人々と協働するために、多様な人々の立場を尊重し、理解することを通じて円滑なコミュニケーションを図ることができる。
- DP2: 多種多様な作業療法の実践に必要な基礎および専門的知識を修得している。また、人々にとって目的や価値を持つ生活行為の向上に貢献するために、対象者の生活行為に最も近くから寄り添う視点を持つ専門職としての技術と態度を身につけている。
- DP3: 医学・医療の進歩と多様性に基づき、個別的・社会的ニーズの変化に対応するため、作業療法の専門性を発揮し、科学的分析に基づく問題解決能力を身につけている。更に、作業療法に対する探究心と研究心を備えている。
- DP4: 作業療法対象者やその家族および保健・医療・福祉に関するあらゆる人々と協働するための専門的知識と技能を身につけている。また、論理的思考により様々な問題を解決できる行動力を身につけている。

入学定員と募集人員

入試区分				募集人員		
				看護学部	リハビリテーション学部	
				看護学科	理学療法学科	作業療法学科
総合型選抜	総合型入試 〔専願・併願選択制〕	I 期 <input type="checkbox"/> Net 出願	7名	7名	4名	
		II 期 <input type="checkbox"/> Net 出願	2名	2名	2名	
	特別奨学生入試〔併願可〕		<input type="checkbox"/> Net 出願	15名	10名	5名
学校推薦型選抜	◆ 指定校制推薦入試〔専願型〕		<input type="checkbox"/> Net 出願	20名	10名	4名
	公募制推薦入試 〔専願・併願選択制〕	I 期 <input type="checkbox"/> Net 出願	7名	7名	3名	
		II 期 <input type="checkbox"/> Net 出願	2名	2名	2名	
専門学科、総合学科推薦入試〔専願・併願選択制〕		<input type="checkbox"/> Net 出願	若干名	若干名	若干名	
一般選抜	一般入試 〔併願可〕	I 期 <input type="checkbox"/> Net 出願	18名	13名	5名	
		II 期 <input type="checkbox"/> Net 出願	4名	4名	2名	
		III 期 <input type="checkbox"/> Net 出願	若干名	若干名	若干名	
		IV 期 <input type="checkbox"/> Net 出願	若干名	若干名	若干名	
	大学入学共通テスト 利用入試〔併願可〕	I 期 <input type="checkbox"/> Net 出願	5名	5名	3名	
		II 期 <input type="checkbox"/> Net 出願	若干名	若干名	若干名	
III 期 <input type="checkbox"/> Net 出願		若干名	若干名	若干名		
その他選抜	社会人入試〔併願可〕	I 期 <input type="checkbox"/> Net 出願	若干名	若干名	若干名	
		II 期 <input type="checkbox"/> Net 出願	若干名	若干名	若干名	
入学定員				80名	60名	30名

※ 指定校制推薦入試の情報は、本学が依頼する高等学校に直接通知します。

※ ◆印の学生募集要項は別冊となっています。

本学の11月までに実施する令和6年度総合型入試、推薦入試に出願した方は、特別奨学生入試（試験日12月10日（日））に出願し、特別奨学生にチャレンジすることができます。ただし、専願型の入試で合格し入学手続をした方は、同一学部・学科に限り受験することができます。

出願資格

公募制推薦入試（次のいずれかに該当する者）

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を令和5年3月以降に卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者で、学校長の推薦を受けた者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和5年3月以降に修了した者及び令和6年3月修了見込みの者で、学校長の推薦を受けた者
※いずれも、出願時に出身学校の全体の学習成績の状況について指定はありません。
〔専願型〕 合格した場合は、必ず本学の合格した学部・学科に入学する者
〔併願型〕 他大学との併願は可能

専門学科、総合学科推薦入試（次のいずれかに該当する者）

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校の専門教育を主とする学科または総合学科を令和5年3月以降に卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者で、学校長の推薦を受けた者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和5年3月以降に修了した者及び令和6年3月修了見込みの者で、学校長の推薦を受けた者
※いずれも、出願時に出身学校の全体の学習成績の状況について指定はありません。
〔専願型〕 合格した場合は、必ず本学の合格した学部・学科に入学する者
〔併願型〕 他大学との併願は可能

総合型入試、特別奨学生入試、一般入試（次のいずれかに該当する者）

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和6年3月31日までに該当する見込みの者
具体的には、以下に掲げる①～⑦のいずれかに該当する者
 - ①外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ③専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - ④文部科学大臣の指定した者
 - ⑤高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）
 - ⑥学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
 - ⑦本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者、及び令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、令和6年3月31日までに18歳に達する者※上記⑦において、本学の個別の入学資格審査により出願を希望する場合は、各入試日程の出願開始日までに個別の資格審査のための書類提出が必要となります。詳しくは入試・広報部まで問い合わせてください。

総合型入試

- 〔専願型〕 合格した場合は、必ず本学の合格した学部・学科に入学する者
〔併願型〕 他大学との併願は可能

大学入学共通テスト利用入試（次の要件を満たしている者）

令和6年度大学入学共通テストに出願し受験予定の者または受験した者
（令和5年度以前の大学入学共通テスト及び大学入試センター試験の結果は利用できません）

※本学の個別の入学資格審査により出願を希望する場合は、大学入学共通テストの出願3週間前までに個別の資格審査のための書類提出が必要となります。詳しくは入試・広報部まで問い合わせてください。

社会人入試（次の要件を満たしている者）

（1）令和5年4月1日現在で満20歳以上であり、高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者またはそれと同等以上の学力を有し、令和5年4月1日において2年以上の社会人経験（家事・家業・アルバイト従事を含む）を有する者

（2）医療職への強い意欲をもち、心身ともに健康で学習を継続しうる者

※本学の個別の入学資格審査により出願を希望する場合は、各入試日程の出願開始日までに個別資格審査のための書類提出が必要となります。詳しくは入試・広報部まで問い合わせてください。

本学の入学志願者は各学部のアドミッションポリシーを理解し出願してください。

身体に障がいのある方で、受験時や入学後の学修に際して、特別の対応や配慮を希望する場合は、出願前に必ず入試・広報部に相談のうえ、必要書類を提出してください。

学校推薦型選抜 **公募制推薦入試 I 期〔専願・併願選択制〕** Net
出願

試験日	令和5年11月12日(日)					
出願期間	令和5年11月1日(水)～令和5年11月8日(水)必着 ※出願書類を郵送する場合は出願期間内必着とし、持参の場合は土・日・祝日を除く、月曜日から金曜日(午前9時～午後5時)の間に本学入試・広報部へ提出してください。					
出願方法	本学ホームページより「Net出願」を利用してください。Net出願登録後、出願書類の提出をもって出願を受理します。Net出願登録だけでは受験ができませんので注意してください。詳細は「Net出願ガイド」を参照してください。					
出願時成績等要件	評定平均値等についての指定はありません。					
専願・併願について	〔専願型〕合格した場合は、必ず本学の合格した学部・学科に入学する者 〔併願型〕他大学との併願は可能					
試験地	本学 ※試験場は30頁～31頁を参照してください。					
選考方法点	選考方法		配点	満点	学力の3要素	
					知識技能 思考力判断力表現力 主体性多様性協働性	
	①国語基礎学カテスト	高等学校の定期試験程度の問題を出題します。(試験時間40分、全問マーク式)	50	100	◎	
②個別面接	提出書類に基づき、本学を志望した理由、本学での学習意欲等を中心に質問します。入学志望理由書、推薦書、調査書の評価を含みます。	50	○		○	○
					◎特に関連 ○関連	
時間割	9:00 9:40 10:00～10:40 11:00～	受付開始 入室完了 国語基礎学カテスト 個別面接				
合格発表日 23頁を参照	令和5年12月1日(金)					
入学手続締切日 24頁～27頁を参照	一括手続	令和5年12月11日(月)	入学手続の詳細については、入試結果通知書送付の際、合格者に通知します。			
併願型志願者学部・学科間の併願について 21頁を参照	<ul style="list-style-type: none"> ●志願者の希望によりリハビリテーション学部理学療法学科と作業療法学科を併願する際は、入学検定料の追加は不要で両学科の合否判定を受けることができます。 ●志願者の希望により看護学部とリハビリテーション学部を併願する際は、入学検定料の追加は不要で両学部、両学科の合否判定を受けることができます。 					

学校推薦型選抜 公募制推薦入試Ⅱ期〔専願・併願選択制〕 Net
出願

試験日	令和5年12月10日(日)				
出願期間	令和5年11月13日(月)～令和5年12月4日(月)必着 ※出願書類を郵送する場合は出願期間内必着とし、持参の場合は土・日・祝日を除く、月曜日から金曜日(午前9時～午後5時)の間に本学入試・広報部へ提出してください。				
出願方法	本学ホームページより「Net出願」を利用してください。Net出願登録後、出願書類の提出をもって出願を受理します。Net出願登録だけでは受験ができませんので注意してください。詳細は「Net出願ガイド」を参照してください。				
出願時成績等要件	評定平均値等についての指定はありません。				
専願・併願について	〔専願型〕合格した場合は、必ず本学の合格した学部・学科に入学する者 〔併願型〕他大学との併願は可能				
試験地	本学 ※試験場は30頁～31頁を参照してください。				
選考方法点配	選考方法		配点	満点	学力の3要素
					知識技能 思考力判断力表現力 主体性多様性協働性
	①小論文	800字程度で記述(試験時間60分)	50	100	○ ○
②個別面接	提出書類に基づき、本学を志望した理由、本学での学習意欲等を中心に質問します。入学志望理由書、推薦書、調査書の評価を含みます。	50	○ ○ ○		
					◎特に関連 ○関連
時間割	9:20 10:00 10:20～11:20 11:40～	受付開始 入室完了 小論文 個別面接			
合格発表日 23頁を参照	令和5年12月16日(土)				
入学手続き締切日 24頁～27頁を参照	一括 手続	令和5年12月25日(月)			
		入学手続きの詳細については、入試結果通知書送付の際、合格者に通知します。			
併願型志願者学部・学科間の併願について 21頁を参照	<ul style="list-style-type: none"> ●志願者の希望によりリハビリテーション学部理学療法学科と作業療法学科を併願する際は、入学検定料の追加は不要で両学科の合否判定を受けることができます。 ●志願者の希望により看護学部とリハビリテーション学部を併願する際は、入学検定料の追加は不要で両学部、両学科の合否判定を受けることができます。 				

学校推薦型選抜

専門学科、総合学科推薦入試〔専願・併願選択制〕

Net出願

試験日	令和5年11月12日(日)								
出願期間	令和5年11月1日(水)～令和5年11月8日(水)必着 ※出願書類を郵送する場合は出願期間内必着とし、持参の場合は土・日・祝日を除く、月曜日から金曜日(午前9時～午後5時)の間に本学入試・広報部へ提出してください。								
出願方法	本学ホームページより「Net出願」を利用してください。Net出願登録後、出願書類の提出をもって出願を受理します。Net出願登録だけでは受験ができませんので注意してください。詳細は「Net出願ガイド」を参照してください。								
出願時成績等要件	評定平均値等についての指定はありません。								
専願・併願について	〔専願型〕合格した場合は、必ず本学の合格した学部・学科に入学する者 〔併願型〕他大学との併願は可能								
試験地	本学 ※試験場は30頁～31頁を参照してください。								
選考方法点	選考方法				配点	満点	学力の3要素		
							知識技能	思考力判断力表現力	主体性多様性協働性
	①小論文	800字程度で記述(試験時間60分)			50	100	○	○	
②個別面接	提出書類に基づき、本学を志望した理由、本学での学習意欲等を中心に質問します。入学志望理由書、推薦書、調査書の評価を含みます。			50	○		○	○	
◎特に関連 ○関連									
時間割	9:00	受付開始							
	9:40	入室完了							
	10:00～11:00	小論文							
	11:20～	個別面接							
合格発表日	令和5年12月1日(金)								
	23頁を参照								
入学手続き締切日	一括 手続 令和5年12月11日(月)								
	24頁～27頁を参照								
	入学手続きの詳細については、入試結果通知書送付の際、合格者に通知します。								

併願型志願者学部・学科間の併願について
21頁を参照

- 志願者の希望によりリハビリテーション学部理学療法学科と作業療法学科を併願する際は、入学検定料の追加は不要で両学科の合否判定を受けることができます。
- 志願者の希望により看護学部とリハビリテーション学部を併願する際は、入学検定料の追加は不要で両学部、両学科の合否判定を受けることができます。

総合型選抜

特別奨学生入試〔併願可〕

Net
出願

試験日	令和5年12月10日(日)							
出願期間	令和5年11月1日(水)～令和5年12月4日(月)必着 ※出願書類を郵送する場合は出願期間内必着とし、持参の場合は土・日・祝日を除く、月曜日から金曜日(午前9時～午後5時)の間に本学入試・広報部へ提出してください。							
出願方法	本学ホームページより「Net出願」を利用してください。Net出願登録後、出願書類の提出をもって出願を受理します。Net出願登録だけでは受験ができませんので注意してください。詳細は「Net出願ガイド」を参照してください。							
試験地	本学、名古屋、高山、飯田、松本、富山、浜松 出願時に登録した試験地は、出願後に変更することはできません。※試験場は30～31頁を参照してください。							
試験科目 選択方法 配点	◎特に関連 ○関連							
	選考方法		配点					
	満点	学力の3要素						
	知識技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協働性					
	教科	科目	選択方法					
①学力検査	外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅰ」	必須 試験時間60分	100	◎			
	国語	「国語総合(古文・漢文を除く)」						
	数学	「数学Ⅰ・数学A」 (数学Aについては、場合の数と確率、図形の性質から出題)	左記3教科より 2教科を選択 試験時間120分	100×2 200				400
	理科	「生物基礎」						
②グループ面接	提出書類に基づき、本学を志望した理由、本学での学習意欲等を中心に質問します。調査書の評価を含みます。	1グループ 20分程度	100		○	○	○	
◆解答方法 全問マーク式 ◆出題科目の補足 国語 「国語総合」古文・漢文を除く 数学 「数学Ⅰ・数学A」数学Aについては、場合の数と確率、図形の性質から出題 ◆選択教科(科目)について 3教科の問題(合冊)を配布しますので、試験開始後に解答する教科を決めてください。								
時間割	9:30 10:00 10:20～12:20 13:20～14:20 14:50～	受付開始 入室完了 選択教科(国語、数学、理科より2教科を選択) 外国語 グループ面談	※選択教科2教科の解答する順序、時間の使い方は自由です。					
合格発表日 23頁を参照	特別奨学生合格発表及び 一般入試免除合格候補者発表	令和5年12月16日(土)						
	一般入試免除合格正式発表	令和6年2月9日(金)						
入学手続 締切日 24頁～27頁を参照	特別奨学生 S・A・B	一般入試免除合格	入学手続の詳細については、入試結果通知書送付の際、合格者に通知します。					
	1次手続締切日	令和6年1月10日(水)	令和6年2月20日(火)					
	2次手続締切日	令和6年3月11日(月)	令和6年3月11日(月)					
再受験 について	本学のこれまでの令和6年度入試に出願した方は、入学検定料免除で受験することができます。ただし、専願型の入試で合格し入学手続をした方は、同一学部・学科に限り受験することができます。なお、本学の11月までの令和6年度入試で合格した後、特別奨学生入試で合格し特別奨学生に選考された場合、特別奨学生の特典が採用されます。							

一般入試免除合格について

特別奨学生に選考されなかった場合でも、本学で実施する一般入試合格者と同等もしくはそれ以上の学力を有すると認められた受験者には、12/16(土)に合格候補者として通知します。合格候補者の一般入試免除合格通知は、2/9(金)に行います。

学部・学科間の併願について
21頁を参照

- 志願者の希望によりリハビリテーション学部理学療法学科と作業療法学科を併願する際は、入学検定料の追加は不要で両学科の合否判定を受けることができます。
- 志願者の希望により看護学部とリハビリテーション学部を併願する際は、入学検定料の追加は不要で両学部、両学科の合否判定を受けることができます。

看護学部 特別奨学生 の選考について

- ・ 入学試験の成績により特別奨学生を選考します。
 - 特別奨学生S** 入学金免除+授業料全額免除(最長4年間)
 - 特別奨学生A** 授業料全額免除(最長4年間)
 - 特別奨学生B** 授業料半額免除(最長4年間)
- ・ 令和6年度 看護学部 特別奨学生の選考予定人数：最大15名
※入学後も一定の基準を満たす成績を修めることで、4年間継続して奨学金を受け取ることができます。

リハビリテーション学部 特別奨学生 の選考について

- ・ 入学試験の成績により特別奨学生を選考します。
 - 特別奨学生S** 入学金免除+授業料全額免除(最長4年間)
 - 特別奨学生A** 授業料全額免除(最長4年間)
 - 特別奨学生B** 授業料半額免除(最長4年間)
- ・ 令和6年度 リハビリテーション学部 特別奨学生の選考予定人数：最大15名
※入学後も一定の基準を満たす成績を修めることで、4年間継続して奨学金を受け取ることができます。

特別奨学生選考者の入学手続特例制度(特別奨学生入試受験者対象)

国公立大学前期日程受験者に対応した、入学手続の特例制度を設けています。詳細は25頁(看護学部)、27頁(リハビリテーション学部)を参照して下さい。

一般選抜 **一般入試 I 期** (特別奨学生の選考を兼ねる) Net
出願

試験日	令和6年2月1日(木)	令和6年2月5日(月)						
出願期間	令和6年1月5日(金)～令和6年1月26日(金)必着 ※出願書類を郵送する場合は出願期間内必着とし、持参の場合は土・日・祝日を除く、月曜日から金曜日(午前9時～午後5時)の間に本学入試・広報部へ提出してください。							
出願方法	本学ホームページより「Net出願」を利用してください。Net出願登録後、出願書類の提出をもって出願を受理します。Net出願登録だけでは受験ができませんので注意してください。詳細は「Net出願ガイド」を参照してください。							
試験地	本学、名古屋、浜松 出願時に登録した試験地は、出願後に変更することはできません。 ※試験場は30頁～31頁を参照してください。	本学 ※試験場は30頁～31頁を参照してください。						
試験科目 選択方法 配点	入室完了時刻 9:40							
	選考方法(解答方法は全問マーク式)							
	◎特に関連 ○関連							
	学力の3要素							
	教科	科目	選択方法	配点	満点	知識技能	思考力判断力表現力	主体性多様性協働性
①学力検査	必須	外国語 「コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅰ」	左記2教科を解答 試験時間120分	※1 200	220	◎		
		国語 「国語総合」(古文・漢文を除く)						
	②書類審査		調査書の 評価を含みます	20		○	○	○
	※1 学力検査配点 各教科100点 計200点 ◆解答方式 全問マーク式 ◆出題科目の補足 国語 「国語総合」 古文・漢文を除く							
時間割	9:00 受付開始 9:40 入室完了 10:00～12:00 外国語、国語*2							
合格発表日	令和6年2月9日(金) 23頁を参照							
入学手続き締切日	1次手続締切日 令和6年2月20日(火) 2次手続締切日 令和6年3月11日(金)							
	●入学手続の詳細については、入試結果通知書を送付の際、合格者に通知します。							

学部・学科間の併願について 21頁を参照	<ul style="list-style-type: none"> ●志願者の希望によりリハビリテーション学部理学療法学科と作業療法学科を併願する際は、入学検定料の追加は不要で両学科の合否判定を受けることができます。 ●志願者の希望により看護学部とリハビリテーション学部を併願する際は、入学検定料の追加は不要で両学部、両学科の合否判定を受けることができます。
-------------------------	--

■看護学部 特別奨学生の選考について

・入学試験の成績により特別奨学生を若干名選考します。

特別奨学生A 授業料全額免除(最長4年間)

特別奨学生B 授業料半額免除(最長4年間)

※入学後も一定の基準を満たす成績を修めることで、4年間継続して奨学金を受け取ることができます。

■リハビリテーション学部 特別奨学生の選考について

・入学試験の成績により特別奨学生を若干名選考します。

特別奨学生A 授業料全額免除(最長4年間)

特別奨学生B 授業料半額免除(最長4年間)

※入学後も一定の基準を満たす成績を修めることで、4年間継続して奨学金を受け取ることができます。

特別奨学生選考者の入学手続特例制度(一般入試 I 期受験者対象)

国公立大学前期日程受験者に対応した、入学手続の特例制度を設けています。詳細は 25 頁(看護学部)、27 頁(リハビリテーション学部)を参照して下さい。

一般選抜 **一般入試Ⅱ期** (特別奨学生の選考を兼ねる) **Net出願**

試験日	令和6年2月21日(水)						
出願期間	令和6年1月5日(金)～令和6年2月19日(月)必着 ※出願書類を郵送する場合は出願期間内必着とし、持参の場合は土・日・祝日を除く、月曜日から金曜日(午前9時～午後5時)の間に本学入試・広報部へ提出してください。						
出願方法	本学ホームページより「Net出願」を利用してください。Net出願登録後、出願書類の提出をもって出願を受理します。Net出願登録だけでは受験ができませんので注意してください。詳細は「Net出願ガイド」を参照してください。						
試験地	本学 ※試験場は30頁～31頁を参照してください。						
試験科目 選択方法 配点	入室完了時刻 9:40						
	選考方法(解答方法は全問マーク式)						
	◎特に関連 ○関連						
	学力の3要素						
	知識技能 思考力判断力表現力 主体性多様性協働性						
	教科 科目 選択方法 配点 満点						
①学力検査 必須	外国語 「コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅰ」 国語 「国語総合(古文・漢文を除く)」	左記2教科を解答 試験時間120分	※1 200	220	◎		
	②書類審査	調査書の 評価を含みます	20		○	○	○
	※1 学力検査配点 各教科100点 計200点 ◆解答方式 全問マーク式 ◆出題科目の補足 国語 「国語総合」古文・漢文を除く						
時間割	9:00 受付開始 9:40 入室完了 10:00～12:00 外国語、国語※2 ※2 解答する2教科の順序、時間の使い方は自由です。						
合格発表日 23頁を参照	令和6年2月27日(火)						
入学手続き 締切日 24頁～27頁を参照	一括 手続 令和6年3月11日(月) 入学手続きの詳細については、入試結果通知書を送付の際、合格者に通知します。						

学部・学科間の併願について 21頁を参照	<ul style="list-style-type: none"> ●志願者の希望により、リハビリテーション学部理学療法学科と作業療法学科を併願する際は、入学検定料の追加は不要で両学科の合否判定を受けることができます。 ●志願者の希望により、看護学部とリハビリテーション学部を併願する際は、入学検定料の追加は不要で両学部、両学科の合否判定を受けることができます。
-------------------------	--

<p>看護学部 特別奨学生の選考について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学試験の成績により特別奨学生を若干名選考します。 <p>特別奨学生A 授業料全額免除(最長4年間) 特別奨学生B 授業料半額免除(最長4年間)</p> <p>※入学後も一定の基準を満たす成績を修めることで、4年間継続して奨学金を受け取ることができます。</p>	<p>リハビリテーション学部 特別奨学生の選考について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学試験の成績により特別奨学生を若干名選考します。 <p>特別奨学生A 授業料全額免除(最長4年間) 特別奨学生B 授業料半額免除(最長4年間)</p> <p>※入学後も一定の基準を満たす成績を修めることで、4年間継続して奨学金を受け取ることができます。</p>
--	---

一般選抜 一般入試 Ⅲ期・Ⅳ期 (特別奨学生の選考を兼ねる) Net出願

	Ⅲ期	Ⅳ期			
試験日	令和6年3月8日(金)	令和6年3月21日(木)			
出願期間	令和6年1月5日(金) } 令和6年3月5日(火)必着	令和6年3月1日(金) } 令和6年3月19日(火)必着			
※出願書類を郵送する場合は出願期間内必着とし、持参の場合は土・日・祝日を除く、月曜日から金曜日(午前9時～午後5時)の間に本学入試・広報部へ提出してください。					
出願方法	本学ホームページより「Net出願」を利用してください。Net出願登録後、出願書類の提出をもって出願を受理します。Net出願登録だけでは受験ができませんので注意してください。詳細は「Net出願ガイド」を参照してください。				
試験地	本学 ※試験場は30頁～31頁を参照してください。				
選考方法点	◎特に関連 ○関連				
	選考方法		配点 満点		
			学力の3要素		
			知識技能	思考力判断力表現力	主体性多様性協働性
	小論文型	①小論文 800字程度で記述(試験時間60分)	50	100	◎ ○ ○
	英語評価型	①英語民間試験の成績利用 または 大学入学共通テストの「英語」の得点利用 ②個別面接 提出書類に基づき、本学を志望した理由、本学での学習意欲等を中心に質問します。調査書の評価を含みます。	50	100	◎ ○ ○
①〔英語評価型〕英語民間試験の活用					
試験名称		等級・スコア			※この制度を利用する場合は、出願時に登録し、本学が指定する英語民間試験の成績に関する証明書等の提出が必要となります。詳細は、21頁をご確認ください。
日本英語検定協会 実用英語検定		準1級	2級	準2級	
ベネッセコーポレーション GTEC CBT		1180以上	930以上	680以上	
みなし得点		50点	40点	30点	
時間割	〈小論文型〉		〈英語評価型〉		
	9:00	受付開始	10:30	受付開始	
	9:40	入室完了	11:00	入室完了	
	10:00~11:00	小論文	11:20~	個別面接	
	11:20~	個別面接			
合格発表日 23頁を参照	令和6年3月12日(火)	令和6年3月22日(金)			
入学手続き 締切日 24頁~27頁を参照	一括 手続 令和6年3月19日(火)	一括 手続 令和6年3月26日(火)	入学手続きの詳細については、入試結果通知書送付の際、合格者に通知します。		

学部・学科間の併願について
21頁を参照

- 志願者の希望によりリハビリテーション学部理学療法学科と作業療法学科を併願する際は、入学検定料の追加は不要で両学科の合否判定を受けることができます。
- 志願者の希望により看護学部とリハビリテーション学部を併願する際は、入学検定料の追加は不要で両学部、両学科の合否判定を受けることができます。

看護学部 特別奨学生の選考について

- ・入学試験の成績により特別奨学生を若干名選考します。

特別奨学生A 授業料全額免除(最長4年間)

特別奨学生B 授業料半額免除(最長4年間)

※入学後も一定の基準を満たす成績を修めることで、4年間継続して奨学金を受け取ることができます。

リハビリテーション学部 特別奨学生の選考について

- ・入学試験の成績により特別奨学生を若干名選考します。

特別奨学生A 授業料全額免除(最長4年間)

特別奨学生B 授業料半額免除(最長4年間)

※入学後も一定の基準を満たす成績を修めることで、4年間継続して奨学金を受け取ることができます。

一般選抜

大学入学共通テスト利用入試 I 期・II 期・III 期

Net出願

(特別奨学生の選考を兼ねる)

出願期間	〔I 期〕令和6年1月5日(金)～令和6年2月2日(金)必着 〔II 期〕令和6年2月13日(火)～令和6年3月6日(水)必着 〔III 期〕令和6年3月1日(金)～令和6年3月19日(火)必着 ※出願書類を郵送する場合は出願期間内必着とし、持参の場合は土・日・祝日を除く、月曜日から金曜日(午前9時～午後5時)の間に本学入試・広報部へ提出してください。									
出願方法	本学ホームページより「Net出願」を利用してください。Net出願登録後、出願書類の提出をもって出願を受理します。Net出願登録だけでは受験ができませんので注意してください。詳細は「Net出願ガイド」を参照してください。									
本学が利用する「大学入学共通テスト」の教科・科目	選考方法(解答方法は全問マーク式)						学力の3要素			
		教科	科目	選択方法	配点	満点	知識技能	思考力判断力表現力	主体性多様性協働性	
	①大学入学共通テスト 得点利用	外国語	『英語(リスニングテストを含む)』		高得点3教科3科目の得点を合否判定に利用します 「理科」について基礎を付した科目は2科目の合計点を1科目の得点とみなします	※1 300	330	◎		
		国語	『国語(近代以降の文章)』							
		数学	『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』から1科目							
理科		『物理基礎』、『化学基礎』、『生物基礎』から2科目、または『物理』、『化学』、『生物』から1科目								
	②書類審査			調査書の評価を含みます	30		○	○	○	
						※1 すべての科目を100点に換算 計300点			◎特に関連 ○関連	
個別試験	個別試験は実施しません。									
合格発表日 23頁を参照	〔I 期〕令和6年2月9日(金)〔II 期〕令和6年3月12日(火)〔III 期〕令和6年3月22日(金)									
入学手続締切日 24頁～27頁を参照	〔I 期〕1次手続締切日 令和6年2月20日(火) 2次手続締切日令和6年3月11日(月) 〔II 期〕一括手続 令和6年3月19日(火) 〔III 期〕一括手続 令和6年3月26日(火)									
	●入学手続の詳細については、入試結果通知書を送付の際、合格者に通知します。 ●入学手続時に「大学入学共通テスト受験票」が必要となりますので、大切に保管してください。									
備考	令和5年度以前の大学入学共通テスト及び大学入試センター試験の結果は利用できません。									
学部・学科間の併願について 21頁を参照	●志願者の希望によりリハビリテーション学部理学療法学科と作業療法学科を併願する際は、入学検定料の追加は不要で両学科の合否判定を受けることができます。 ●志願者の希望により看護学部とリハビリテーション学部を併願する際は、入学検定料の追加は不要で両学部、両学科の合否判定を受けることができます。									

看護学部 特別奨学生の選考について

・入学試験の成績により特別奨学生を若干名選考します。

特別奨学生 A 授業料全額免除(最長4年間)

特別奨学生 B 授業料半額免除(最長4年間)

※入学後も一定の基準を満たす成績を修めることで、4年間継続して奨学金を受け取ることができます。

リハビリテーション学部 特別奨学生の選考について

・入学試験の成績により特別奨学生を若干名選考します。

特別奨学生 A 授業料全額免除(最長4年間)

特別奨学生 B 授業料半額免除(最長4年間)

※入学後も一定の基準を満たす成績を修めることで、4年間継続して奨学金を受け取ることができます。

特別奨学生選考者の入学手続特例制度(大学入学共通テスト利用入試 I 期受験者対象)

国公立大学前期日程受験者に対応した、入学手続の特例制度を設けています。詳細は25頁(看護学部)、27頁(リハビリテーション学部)を参照して下さい。

入学試験要項

看護学部 看護学科 リハビリテーション学部 理学療法学科・作業療法学科

その他選抜 **社会人入試 I 期・II 期〔併願可〕** Net
出願

	I 期	II 期					
試験日	令和5年11月12日(日)	令和6年3月8日(金)					
出願期間	令和5年11月1日(水) } 令和5年11月8日(水)必着	令和6年2月13日(火) } 令和6年3月5日(火)必着					
※出願書類を郵送する場合は出願期間内必着とし、持参の場合は土・日・祝日を除く、月曜日から金曜日(午前9時～午後5時)の間に本学入試・広報部へ提出してください。							
出願方法	本学ホームページより「Net出願」を利用してください。Net出願登録後、出願書類の提出をもって出願を受理します。Net出願登録だけでは受験ができませんので注意してください。詳細は「Net出願ガイド」を参照してください。						
試験地	本学 ※試験場は30頁～31頁を参照してください。						
選考方法点	選考方法		配点	満点	学力の3要素		
					知識技能	思考力判断力表現力	主体性多様性協働性
	①小論文	800字程度で記述(試験時間60分)	50	100	○	○	
②個別面接	提出書類に基づき、本学を志望した理由、本学での学習意欲等を中心に質問します。入学志望理由書、調査書の評価を含みます。	50			○	○	
◎特に関連 ○関連							
時間割	9:00 受付開始 9:40 入室完了 10:00～11:00 小論文 11:20～ 面接						
合格発表日 23頁を参照	令和5年11月18日(土)	令和6年3月12日(火)					
入学手続き締切日 24頁～27頁を参照	一括 手続 令和5年12月1日(金)	一括 手続 令和6年3月19日(火)	入学手続きの詳細については、入試結果通知書送付の際、合格者に通知します。				
学部・学科間の併願について 21頁を参照	<ul style="list-style-type: none"> ●志願者の希望によりリハビリテーション学部理学療法学科と作業療法学科を併願する際は、入学検定料の追加は不要で両学科の合否判定を受けることができます。 ●志願者の希望により看護学部とリハビリテーション学部を併願する際は、入学検定料の追加は不要で両学部、両学科の合否判定を受けることができます。 						

出願方法 (Net出願)

本学の入学試験は、インターネットを利用して出願する方法で行います。出願方法は「Net出願ガイド」をご確認ください。「Net出願ガイド」は、本学ホームページ (<https://www.gifuhoken.ac.jp>) の入試情報よりダウンロードができます。

令和6年度 岐阜保健大学 Net出願ガイド

**願書請求なしで
出願OK!**

願書を取り寄せる手間がないから、紙の出願よりも断然スピーディ!

**24時間
いつでも出願**

自宅にパソコンがなくてもOK! スマホや学校のPCからも出願できる。

**スムーズに
出願完了!**

システムがチェックするので間違いや記入もれの心配ゼロ!

ご準備ください



Personal
Computer

or



Smart
phone

or



Tablet

&



Printer

■必要なインターネットの環境

パソコン	Windows : Microsoft Edge (最新バージョン) Google Chrome (最新バージョン) Firefox (最新バージョン)	※ブラウザの設定について、どのブラウザでも、以下の設定を行ってください。 ・JavaScriptを有効にする ・Cookieを有効にする。 ※セキュリティソフトをインストールしている場合、インターネット出願が正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。 セキュリティソフトについては、各メーカーのサポートセンターに問い合せてください。
	Mac OS : Safari (最新バージョン)	
スマートフォン・タブレット	Android : 11.0以上 (Android Chrome 最新バージョン) iOS : 14.0以上	

※メールアドレスについて…ユーザー登録の際、メールアドレスの入力が必要です。フリーメール (GmailやYahoo!メールなど) や携帯電話のアドレスで構いませんが、携帯メールの場合はドメイン (@toyota.ac.jp,@postanet.jp) を受信指定してください。出願登録完了時・入学検定料支払い完了時に確認メールが自動送信されます。



岐阜保健大学

お問い合わせ

Tel.058-274-5001
入試・広報部 E-mail : koho@toyota.ac.jp

出願に必要な書類

提出書類	必要書類	①Net出願 志願票・ 照合票	②出身学校 調査書	③入学志望 理由書	④入学 推薦書	⑤活動 報告書	
	入試区分						
提出書類	総合型入試	○	○	○	—	○	
	公募制推薦入試			○	○	—	
	専門学科、総合学科推薦入試						
	特別奨学生入試						
	一般入試					—	—
	大学入学共通テスト利用入試						
	社会人入試					○	

※大学入学共通テスト利用入試の志願者は、①Net出願志願票・照合票に成績請求票を貼付してください。

※社会人入試の志願者は、上記に加え「卒業証明書」を提出してください。

別冊の「Net出願ガイド」P2を参照し、提出書類を準備してください。

①Net出願志願票・照合票

インターネット上で必要事項を登録し、A4サイズ(横)でプリントアウトしたものを提出してください。

- ・全ての入試において出願日前3ヶ月以内に撮影した顔写真のアップロードが必要となります。
- ・大学入学共通テスト利用入試に出願する場合は「大学入学共通テスト試験成績請求票」を貼付してください。

出願時に登録した内容の変更・取消は認められませんので、よく確認し登録してください。

②出身学校調査書

文部科学省指定の様式で出身学校長が出願日前3ヶ月以内に作成・捺印・厳封したものを提出してください。

「高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定)合格(見込みを含む)」による出願者は、調査書の代わりに下記の書類を提出してください。

- (1) 高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定)合格者は「合格証明書」と「合格成績証明書」、令和6年3月31日までに合格見込みの者は、「合格見込成績証明書」
- (2) 高等学校で単位取得した科目がある場合は、その高等学校の「調査書」もしくは「成績証明書」

複数の入試に出願する際の注意事項

注1) 同時に複数の試験に出願する場合、「出身学校調査書」もしくは高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定)の「合格証明書」、「合格成績証明書」、「合格見込成績証明書」は1通のみ提出してください。

注2) 一度出願した後、それ以降の入試に出願をする場合、「出身学校調査書」もしくは高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定)の「合格証明書」、「合格成績証明書」、「合格見込成績証明書」の提出が必要です。

高等学校既卒者が出願する際の注意事項

注1) 調査書等に記載の氏名と現在の氏名が異なる場合は、改名を証明できる書類(戸籍抄本等)を提出してください。

注2) 書類保存期間経過により調査書が発行できない場合は、「単位修得証明書」及び「卒業証明書」を提出してください。また、調査書が発行できない旨の理由書を高等学校に発行してもらい、併せて提出してください(任意様式)。

③入学志望理由書 — 本学所定用紙 —

本学ホームページよりダウンロードして印刷し、志願者本人が黒のボールペンで記入したものを提出してください。

④入学推薦書 — 本学所定用紙 —

本学ホームページよりダウンロードして印刷し、志願者本人が黒のボールペンで記入後、出身学校長が署名・捺印したものを提出してください。

⑤活動報告書 — 本学所定用紙 —

本学ホームページよりダウンロードして印刷し、志願者が黒のボールペンで記入後、保護者の署名・捺印したものを提出してください。

出願書類は、理由のいかんにかかわらず返還できません。

受験上の注意事項

出 願	Net出願登録後必要書類を送付し、出願完了となります。Net出願登録だけでは受験できません。出願完了は、メールにて通知します。
受 験 票	出願書類の受理、入学検定料の入金が確認されると数日後に「受験票ダウンロードメール」が届きます。その後、「受験票」を印刷して試験日に持参してください。受験票は合格発表・入学手続まで大切に保管してください。
遅 刻 に つ い て	試験開始後20分以上遅刻した場合、受験できません。ただし、天候不順による交通機関の遅延、交通機関の事故などでやむを得ず定刻までに試験場に到着できない場合、その他の理由で遅れる場合は、入試・広報部まで連絡をして指示を受けてください。
開 場	試験の始まる60分前を予定しています。
試験室への入 室	① 受付で受験票を提示して入場してください。 ② 受験票を忘れた場合は、係員にその旨を申し出てください。 ③ 受験番号により指定された席につき、受験票を机の上においてください。
昼 食	昼食は各自用意してください。
持ちもの等	① 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、HBまたはBの黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計、メガネ、ハンカチ、ティッシュペーパー、目薬です。なお、端末機能のある時計は使用できません。 ② 本学試験場で受験する際は、 <u>上履き、靴を入れる袋を持参してください。</u> ③ 昼食が必要な場合は各自用意してください。
そ の 他	① 試験室では、携帯電話などの電子機器類は、アラームの設定を解除し、電源を切ったうえでカバンにしまってください。 ② 不明な点、忘れ物などがあれば、係員に申し出てください。 ③ 入学試験の当日に天候不順による警報等が発令された場合、本学ホームページにて対応方法を告知します。

不正行為について（全試験共通）

(1) 不正となる行為

次のことをすると不正行為になります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以降の受験はできなくなります。また、受験した選抜試験のすべての教科・科目の成績を無効とします。

- ① 入学志願票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（本人以外の写真データをアップロードすることや解答用紙に本人以外の受験番号を記入することなど）をすること。
- ② カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の解答用紙等を見ること、他の人から解答を教わることなど）をすること。
- ③ 他の受験者に解答を教えたり、カンニングの手助けをすること。
- ④ 試験開始の合図の前に問題冊子を開いたり、解答を始めること。
- ⑤ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- ⑥ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類をカバン等にしまわず、身につけていたり手に持っていたりすること。
- ⑦ 試験終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けたりすること。

(2) 不正と疑われる行為

上記(1)以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取り扱いは、(1)と同様です。

- ① 試験時間中にカバンに入れた携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ② 試験会場において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ③ 試験会場において、試験監督者等の指示に従わないこと。
- ④ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

合格発表

- ① 合格発表日の午前10時に、Net出願ポータルサイトより合否結果を確認することができます(一般入試Ⅳ期のみ合格発表日の午後3時より確認が可能となります)。
- ② 合格者には「入試結果通知書」及び「入学手続要項」を合格発表日に本人宛郵送します。不合格者には、郵送による通知は行いません。
- ③ 入試結果に関する問い合わせには応じません。

補欠者の通知に関して

一般選抜の合格発表時に、補欠者を発表することがあります。補欠者は通知の時点では合格者ではなく、合格者の入学手続状況により追加合格となることがあります。補欠者に対する合格者発表期間は、補欠者の通知時に明記されます。

繰り上げ合格に関して

各入試区分において合格発表時に合格できなかった場合も、合格者の入学手続状況により繰り上げ合格とすることがあります。

追加合格者、繰り上げ合格者ともに入学後は通常の合格者と区別することはありません。

入学手続

入学手続とは、入学時納入金を納付し、入学手続書類を提出することです。期限までに入学手続が完了しない場合は入学を辞退したものとみなします。なお、一旦納入された入学金および手続書類は、理由を問わず返還いたしません。

看護学部 看護学科

1. 入学時納入金

入学時納入金とは、下記の①学生納付金の1年次前期分と②後援会費用、③その他の諸費用を合計した額です。

①学生納付金

区 分	1年次		2年次以降	
	入学時学生納付金 1年次前期分	1年次後期分 (10月納入)	前期分 (4月納入)	後期分 (10月納入)
入学金	200,000円	—	—	—
授業料	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円
教育充実費	250,000円	250,000円	250,000円	250,000円
演習・実習費	125,000円	125,000円	125,000円	125,000円
①学生納付金 小計	925,000円	725,000円	725,000円	725,000円

②後援会費用

1年次 (年間) 30,000円
2年次以降 (年間) 24,000円

③その他の諸費用

看護学部看護学科 230,000円 (令和5年度入学生実績)
ユニフォーム代、抗体検査料*、総合補償制度保険料(4年分)、ICT教育費用、国家試験対策費用等。
その他の諸費用は令和5年度入学生の実績であり変更となる場合があります。

上記の他に、教科書代が必要となります (令和5年度入学生実績：約8万円)。

実習時の院内感染対策について*

病院、保健所の実習に関連して、肝炎(HBs抗体)、麻疹、風疹、水痘・帯状ヘルペス、ムンプス(おたふく)の5種の抗体検査を受けるよう指導しており、定期健康診断時に実施しています。この抗体検査とは、人間の体内にある病原菌に対する免疫力(病気に打ち勝つ力)を検査するものです。免疫力が弱いと発病する恐れがあるために実施しています。検査結果によっては、ワクチン接種が必要となります。

2. 入学手続締切日及び入学手続方法

各入学試験の入学手続締切日欄より確認してください。手続きの方法は、一括手続と二段階手続があり、入試区分ごとに定められています。

一括手続	納入額 1,185,000円
	①学生納付金、②後援会費用、③その他の諸費用を入学手続締切日までに納入。
二段階手続	1次手続納入額 200,000円 2次手続納入額 985,000円
	1次手続締切日までに、①学生納付金のうち入学金を納入。 2次手続締切日までに、①学生納付金のうち入学金を除く学生納付金と②後援会費用と③その他の諸費用を納入。
	1次手続時に、1次手続納入金と2次手続納入金の合計金額を一括納入することもできます。

※特別奨学生の合格者は、「入学手続要項」で別途周知します。

3. 入学辞退に関して

一旦納入された「入学時納入金」は原則返還しません。ただし、併願型入試（※2）で合格した入学手続完了者が、令和6年3月29日（金）午後5時（必着）までに「入学辞退届」を本学に提出し、これが許可された場合には、納付された入学金を除く入学時納入金を返還します。

指定した日時までに入学辞退手続きを完了しなかった場合には、入学時納入金は、一切返還されません。

・「入学辞退届」は連絡確認後に用紙を郵送します。

・入学前教育費用は返還の対象となりません。

・返還に関する振込手数料は本人負担とします。

なお、新年度開講の都合上、入学辞退のお申し出は可能な限り令和6年3月22日（金）までにご連絡をいただきますようお願いいたします。

専願型入試（※1）で合格した入学手続完了者が、入学手続完了後、やむを得ない事情により入学辞退を願い出ても納付された入学時納入金は返還しません。

（※1）専願型入試…総合型入試（専願型合格者）、指定校制推薦入試、公募制推薦入試（専願型合格者）専門学科、総合学科推薦入試（専願型合格者）

（※2）併願型入試…総合型入試（併願型合格者）、公募制推薦入試（併願型合格者）、専門学科、総合学科推薦入試（併願型合格者）、特別奨学生入試、一般入試、大学入学共通テスト利用入試、社会人入試

特別奨学生選考者の入学手続特例制度

対象者：特別奨学生入試、一般入試Ⅰ期、大学入学共通テスト利用入試Ⅰ期において特別奨学生に選考された者でのちに国公立大学の一般選抜前期日程に合格した者。ただし、本学で特別奨学生に選考された学部、学科に類する国公立大学の学部、学科に合格した場合に限ります。

対象者は、事前の申請により、国公立大学の一般選抜前期日程に合格した場合には、1次手続納入金として納入された20万円を返還の対象とします。2次手続納入金を納入した場合は、2次手続納入金も返還の対象となります。（振込手数料は受験者が負担する）。

手続きの流れ

1. 各入試区分の合格発表において特別奨学生に選考された者で、のちに国公立大学の一般選抜前期日程に合格した者が対象となる。
2. 国公立大学に合格した際に1次手続納入金の返還を希望する者は、各入試区分の1次入学手続締切日までに1次手続20万円を納入し、特別奨学生入試において特別奨学生に選考された者は令和6年2月3日（土）まで（消印有効）に、一般入試Ⅰ期、大学入学共通テスト利用入試Ⅰ期において特別奨学生に選考された者は、令和6年2月16日（金）まで（消印有効）に「1次手続納入金返還願い（本学所定用紙）」を提出する（1次手続納入金返還願いは、合格発表書類に同封される）。
3. 国公立大学の一般選抜前期日程に合格した者は、速やかに本学入試・広報部に電話連絡をする。その後、令和5年3月15日（金）まで（必着）に国公立大学の受験票（写し可）と合格通知書（またはそれに類するもの、写し可）を本学入試・広報部に提出する。

入学前教育プログラム

本学では、すべての入学予定者を対象に、学習意欲の向上や学習習慣の確立を目的とし、入学前教育プログラムを実施します。

入学前教育プログラムは、医療系専門科目を学ぶための基礎学力をもう一度復習して、入学後の学修へスムーズに繋がられるようにします。

詳細については、合格者に送付する「入学前教育講座のご案内」にてお知らせします。

1. 入学時納入金

入学時納入金とは、下記の①学生納付金の1年次前期分と②後援会費用と③その他の諸費用を合計した額です。

①学生納付金

区 分	1年次		2年次以降	
	入学時学生納付金 1年次前期分	1年次後期分 (10月納入)	前期分 (4月納入)	後期分 (10月納入)
入学金	200,000円	—	—	—
授業料	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円
施設費	125,000円	125,000円	125,000円	125,000円
教育充実費	125,000円	125,000円	125,000円	125,000円
演習・実習費	125,000円	125,000円	125,000円	125,000円
①学生納付金 小計	925,000円	725,000円	725,000円	725,000円

②後援会費用

1年次 (年間) 30,000円

2年次以降 (年間) 24,000円

③その他の諸費用 (令和5年度入学生実績)

● 理学療法学科 260,000円

● 作業療法学科 280,000円

ユニフォーム代、抗体検査料*、総合補償制度保険料(4年分)、ICT教育費用、国家試験対策費用等。
その他の諸費用は令和5年度入学生の実績であり変更となる場合があります。

上記の他に、教科書代が必要となります

(令和5年度入学生実績：理学療法学科 約9万円 作業療法学科 約11万円)

実習時の院内感染対策について*

病院等の実習に関連して、肝炎(HBs抗体)、麻疹、風疹、水痘・帯状ヘルペス、ムンプス(おたふく)の5種の抗体検査を受けるよう指導しており、定期健康診断時に実施しています。この抗体検査とは、人間の体内にある病原菌に対する免疫力(病気に打ち勝つ力)を検査するものです。免疫力が弱いと発病する恐れがあるために実施しています。検査結果によっては、ワクチン接種が必要となります。

2. 入学手続締切日及び入学手続方法

各入学試験の入学手続締切日欄より確認してください。手続きの方法は、一括手続と二段階手続があり、入試区分ごとに定められています。

一括手続	一括 納入額	● 理学療法学科 1,215,000円 ● 作業療法学科 1,235,000円
	①学生納付金、②後援会費用、③その他の諸費用を入学手続締切日までに納入。	
二段階手続	1次手続 納入額	入学金 200,000円
	2次手続 納入額	● 理学療法学科 1,015,000円 ● 作業療法学科 1,035,000円
	1次手続締切日までに、①学生納付金のうち入学金を納入。 2次手続締切日までに、①学生納付金のうち入学金を除く学生納付金と②後援会費用と③その他の諸費用を納入。1次手続時に、1次手続納入金と2次手続納入金の合計金額を一括納入することもできます。	

※特別奨学生の合格者は、「入学手続要項」で別途周知します。

3. 入学辞退に関して

一旦納入された「入学時納入金」は原則返還しません。ただし、併願型入試（※2）で合格した入学手続完了者が、令和6年3月29日（金）午後5時（必着）までに「入学辞退届」を本学に提出し、これが許可された場合には、納付された入学金を除く入学時納入金を返還します。

指定した日時までに入学辞退手続きを完了しなかった場合には、入学時納入金は一切返還されません。

・「入学辞退届」は連絡確認後に用紙を郵送します。

・入学前教育費用は返還の対象となりません。

・返還に関する振込手数料は本人負担とします。

なお、新年度開講の都合上、入学辞退のお申し出は可能な限り令和6年3月22日（金）までにご連絡をいただきますようお願いいたします。

専願型入試（※1）で合格した入学手続完了者が、入学手続完了後、やむを得ない事情により入学辞退を願い出ても納付された入学時納入金は返還しません。

（※1）専願型入試…総合型入試（専願型合格者）、指定校制推薦入試、公募制推薦入試（専願型合格者）専門学科、総合学科推薦入試（専願型合格者）

（※2）併願型入試…総合型入試（併願型合格者）、公募制推薦入試（併願型合格者）、専門学科、総合学科推薦入試（併願型合格者）、特別奨学生入試、一般入試、大学入学共通テスト利用入試、社会人入試

特別奨学生選考者の入学手続特例制度

対象者：特別奨学生入試、一般入試Ⅰ期、大学入学共通テスト利用入試Ⅰ期において特別奨学生に選考された者でのちに国公立大学の一般選抜前期日程に合格した者。ただし、本学で特別奨学生に選考された学部・学科に類する国公立大学の学部・学科に合格した場合に限ります。

対象者は、事前の申請により、国公立大学の一般選抜前期日程に合格した場合には、1次手続納入金として納入された20万円を返還の対象とします。2次手続納入金を納入した場合は、2次手続納入金も返還の対象となります。（振込手数料は受験者が負担する）。

手続きの流れ

1. 各入試区分の合格発表において特別奨学生に選考された者で、のちに国公立大学の一般選抜前期日程に合格した者が対象となる。
2. 国公立大学に合格した際に1次手続納入金の返還を希望する者は、各入試区分の1次入学手続締切日までに1次手続20万円を納入し、特別奨学生入試において特別奨学生に選考された者は令和6年2月3日（土）まで（消印有効）に、一般入試Ⅰ期、大学入学共通テスト利用入試Ⅰ期において特別奨学生に選考された者は、令和6年2月16日（金）まで（消印有効）に「1次手続納入金返還願い（本学所定用紙）」を提出する（1次手続納入金返還願いは、合格発表書類に同封される）。
3. 国公立大学の一般選抜前期日程に合格した者は、速やかに本学入試・広報部に電話連絡をする。その後、令和6年3月15日（金）まで（必着）に国公立大学の受験票（写し可）と合格通知書（またはそれに類するもの、写し可）を本学入試・広報部に提出する。

入学前教育プログラム

本学では、すべての入学予定者を対象に、学習意欲の向上や学習習慣の確立を目的とし、入学前教育プログラムを実施します。

入学前教育プログラムは、医療系専門科目を学ぶための基礎学力をもう一度復習して、入学後の学修へスムーズに繋がられるようにします。

詳細については、合格者に送付する「入学前教育講座のご案内」にてお知らせします。

充実した本学独自の奨学金制度

制度	対象者	内容
特別奨学生制度	右記の入学試験において成績が優秀な者	<ul style="list-style-type: none"> ● 特別奨学生入試において、特別奨学生 S、特別奨学生 A、特別奨学生 B を選考します。 ● 一般入試Ⅰ期～Ⅳ期、大学入学共通テスト利用入試Ⅰ期～Ⅲ期において、特別奨学生 A、特別奨学生 B を選考します。 ■ 減免額 特別奨学生 S / 入学金 20 万円及び授業料の全額を免除 特別奨学生 A / 授業料の全額を免除 特別奨学生 B / 授業料の半額を免除 ■ 対象期間／原則、大学卒業までの 4 年間 入学後も一定の基準を満たす成績を修めることで、4 年間継続して奨学金を受け取ることができます。 ■ 対象学科／全学科 ■ 選考者数／看護学部 15 名 リハビリテーション学部 15 名
在学学生 学内奨学金制度	学業成績が優秀な者	<p>前年度（2 年次の場合、1 年次）の学業成績により、奨学生を決定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 減免額／授業料の半額を免除 ■ 対象期間／1 年間 ※学業成績が優秀な場合には、次年度も継続して授業料等の減免措置が受けられます。 ■ 対象学科／全学科 ■ 選考者数／若干名
指定校制推薦入試 学納金減免制度等	指定校制推薦入試により入学する者	<p>①入学金免除 (対象) 各高等学校に指定した成績を上回る者</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 減免額／入学金 20 万円 ■ 対象期間／入学時 ■ 対象学科／全学科 <p>②特別指定校奨学生制度 (対象) 各高等学校に指定した成績を上回る者</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 減免額／入学金 20 万円及び授業料の 20% を免除 ■ 対象期間／原則、大学卒業までの 4 年間 ※学業成績が優秀な場合には、次年度も継続して授業料等の減免措置が受けられます。 ■ 対象学科／全学科
一人暮らし応援制度	自宅からの通学時間が片道 120 分を超え、入学時より一人暮らしをする者	<ul style="list-style-type: none"> ■ 減免額／年額 50,000 円 ■ 対象期間／原則、大学卒業までの 4 年間 ■ 対象学科／全学科
兄弟姉妹割引制度	入学者の兄弟姉妹が学校法人豊田学園が運営する大学、短期大学、専門学校に在籍している者及び卒業した者	<ul style="list-style-type: none"> ■ 減免額／入学金の半額 10 万円 ■ 対象期間／入学時 ■ 対象学科／全学科
同窓家族割引制度	学校法人豊田学園が運営する大学、短期大学、専門学校の卒業生の皆様の御子息、令嬢	<ul style="list-style-type: none"> ■ 減免額／入学金の半額 10 万円 ■ 対象期間／入学時 ■ 対象学科／全学科

※本学独自の奨学金制度は、複数の奨学金の併用はできません。ただし、一人暮らし応援制度のみ重複することが可能です。

奨学金制度(学外)、各種教育ローン

(1) 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構は、国の育英事業を行う機関です。無利子貸与の第一種奨学金と有利子貸与の第二種奨学金に加えて、昨年度より新たに対象機関に授業料減免とセットになった給付奨学金の支給制度が始まりました。本学はその対象機関に認定されています。給付奨学金について詳しい情報は右下のQRコード「高等教育の修学支援新制度」「奨学金の制度（給付型）」をご覧ください。申し込みにあたってはいずれも経済状況と学業成績の2つの条件があります。申し込みは、大学へ進学する前年の春に在学している学校を通じて行う方法（予約採用）と、大学入学後に在学している大学の窓口に出る方法（在学採用）、また不測の事態で急に奨学金が必要になった場合に在学する大学を通じて申し出る方法（緊急採用）があります。



「高等教育の修学支援制度」



「奨学金の制度（給付型）」

種 別	貸与金額(月額)
第一種奨学金(無利子貸与)	《自宅通学者》2万円～5.4万円の中から選択 《自宅外通学者》2万円～6.4万円の中から選択
第二種奨学金 (有利子/年利3%を上限とする)	2万円～12万円の中から選択可能

(2) 病院の奨学金制度（看護学部学生対象）

病院では、本学をはじめ教育機関に入学し、在学時から卒業後に当該病院で勤務することを強く希望する者を対象として奨学金制度を設けています。奨学金貸与期間分を当該病院で勤務すれば、奨学金の返済は全額免除となり、給与も支給されます。制度の利用は、年度途中からでも可能です。(月額 30,000円～50,000円) 詳細は、各病院のホームページを参照してください。

(3) 母子父子寡婦福祉資金貸付制度（岐阜県）

母子父子寡婦福祉資金の貸付制度は、母子家庭及び父子家庭並びに寡婦の経済的自立と生活意欲の助長を図り、あわせて児童の福祉を推進することを目的として、修学資金をはじめとした12種類の資金からなる貸付制度です。詳細についてのご相談は、お住まいの市福祉事務所(町村にお住まいの方は県事務所福祉課)までお問い合わせください。
(岐阜県公式ホームページ<http://www.pref.gifu.lg.jp/>から抜粋しています。)

(4) その他、各種教育ローン

各種教育ローンがありますが、なかでも国民生活金融公庫が行なっている国の教育ローンは有名です。この他にも郵便局や銀行・信金・労金や農協などの金融機関でも教育ローンを取りそろえています。

ア.国の教育ローン 問い合わせ先:0570-008656

㊦ 教育一般貸付(条件:給与所得者子供3人990万円以内、事業所得者770万円以内) 融資額:200万円以内

㊧ 郵貯貸付(条件:教育積立郵便貯金の預金者で年収制限なし) 融資額:200万円以内

㊨ 年金教育貸付(条件:厚生年金・国民年金加入期間10年以上)

融資額:厚生年金被保険者100万円以内、国民年金被保険者50万円以内

イ.岐阜保健大学 「学費サポートプラン」

本学では、一時的な経済的負担を軽減するため、簡単な手続きで利用できる学費の分納制度を、株式会社オリエンコーポレーション、東濃信用金庫、エヌシーリンク、セディナと提携し「学費サポートプラン」として案内しています。


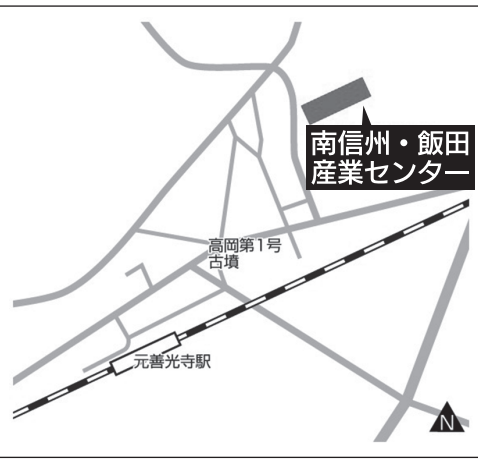
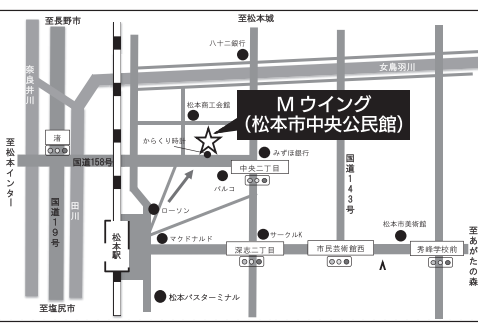
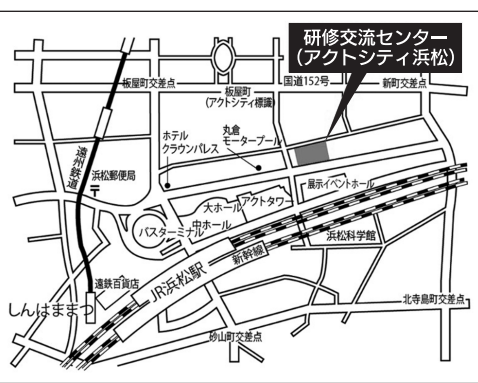
これは、入学金、授業料、教材費、研修費などの納付金を金融機関が立て替え、毎月分割で口座振替により納付いただく制度です。利用限度額は、500万円以内です。

分割の方法も、普通分割だけでなく、在学中には分納手数料のみを納付いただく「ステップアップ分納方式」など多様な選択ができます。保護者のライフプランにあわせて「学費サポートプラン」を活用してください。詳細は、本学ホームページで確認してください。

試験場

- ・試験場の間違いがないよう、十分注意してください。
- ・各試験場へは直接問い合わせをせず、入試・広報部（058-274-5001）に連絡してください。
- ・試験場へは、公共交通機関を利用してください。

試験地	入試区分・日程 試験場・所在地	付 近 略 図
<p>本 学</p>	<p>■総合型入試 〔Ⅰ期〕令和5年10月14日(土) 令和5年10月15日(日) 〔Ⅱ期〕令和5年11月12日(日)</p> <p>■公募制推薦入試Ⅰ期 ■専門学科、総合学科推薦入試 令和5年11月12日(日)</p> <p>■特別奨学生入試 令和5年12月10日(日)</p> <p>■公募制推薦入試Ⅱ期 令和5年12月10日(日)</p> <p>■一般入試 〔Ⅰ期〕令和6年2月1日(木)・2月5日(月) 〔Ⅱ期〕令和6年2月21日(水) 〔Ⅲ期〕令和6年3月8日(金) 〔Ⅳ期〕令和6年3月21日(木)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>岐 阜 保 健 大 学</p> </div> <p>岐阜県岐阜市東鶉2丁目92番地</p>	 <p>※本学試験場の駐車場案内は 32 頁を参照してください。</p> <p>アクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名鉄岐阜駅前②番のりば、またはJR岐阜駅(北口)④番のりばより、岐阜バス「岐阜保健大学」行きに乗車。 ・「岐阜保健大学」下車徒歩約1分。 ・名鉄笠松駅(名鉄名古屋本線・竹鼻線)岐阜バスのりばより「JR西岐阜駅」行きに乗車。「岐阜保健大学南」下車徒歩3分。 ・JR西岐阜駅(JR東海道本線)岐阜バスのりばより「名鉄笠松駅」行きに乗車。「岐阜保健大学南」下車徒歩1分。
<p>名古屋</p>	<p>■特別奨学生入試 令和5年12月10日(日)</p> <p>■一般入試Ⅰ期 令和6年2月1日(木)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>AP名古屋.名駅</p> </div> <p>愛知県名古屋市中村区名駅4-10-25 名駅IMAIビル6階</p>	 <p>アクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JRを利用の場合 「名古屋駅」より徒歩約5分 ・名鉄、近鉄、地下鉄を利用の場合 「名古屋駅」下車徒歩約2分
<p>高山</p>	<p>■特別奨学生入試 令和5年12月10日(日)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>飛驒地域地場産業 振興センター</p> </div> <p>岐阜県高山市天満町5-1-25</p>	 <p>アクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR高山本線「高山駅」東口より徒歩5分

試験地	入試区分・日程 試験場・所在地	付 近 略 図
富 山	<p>■ 特別奨学生入試 令和5年12月10日(日)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>富山県民会館</p> </div> <p>富山県富山市新総曲輪 4-18</p>	 <p>アクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR「富山駅」(南口)、あいの風とやま鉄道「富山駅」(南口)、富山地方鉄道「富山駅」より徒歩10分 ・ 富山地方鉄道バス主要路線 富山市役所前下車
飯 田	<p>■ 特別奨学生入試 令和5年12月10日(日)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>エスパード内 南信州・飯田 産業センター</p> </div> <p>長野県飯田市座光寺 3349-1</p>	 <p>アクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR「元善光寺駅」より北東に400m
松 本	<p>■ 特別奨学生入試 令和5年12月10日(日)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>M ウイング 松本市公民館</p> </div> <p>長野県松本市中央 1-18-1</p>	 <p>アクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR「松本駅」お城口(東口)より徒歩5分 <p>※1階より北側エレベーターで6階ホールまでお上がりください。</p>
浜 松	<p>■ 特別奨学生入試 令和5年12月10日(日)</p> <p>■ 一般入試Ⅰ期 令和6年2月1日(木)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>アクトシティ 研修交流センター</p> </div> <p>静岡県浜松市中区中央三丁目 9番1号</p>	 <p>アクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR「浜松駅」北口より徒歩10分

岐阜保健大学(本学)試験場 駐車場案内

岐阜保健大学

■ 自家用車でご来学の場合

本学試験場に自家用車でご来場の方は、下記の駐車場のうちP①、臨時Pをご利用下さい。通常は黄色のゲートが下りていますが、当日は開放していますので自由に出入りができます。

